



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバンテスト

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.co.jp/investors/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 松野 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中村 弘志

TEL 03-3214-7500

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	97,186	2.1	824	—	108	—	△1,917	—
24年3月期第3四半期	95,155	22.7	△5,323	—	△8,089	—	△7,732	—

(注) 四半期包括利益 25年3月期第3四半期 5,458百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △12,868百万円 (—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△11.05	△11.05
24年3月期第3四半期	△44.62	△44.62

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	216,093	134,409	134,409	62.2
24年3月期	219,226	131,552	131,552	60.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
25年3月期	—	10.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	132,000	△6.4	2,500	198.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名)

、除外 3社 (社名)

Advantest America Corporation (Holding Co.)、Advantest America, Inc.、Verigy Ltd.

(注)詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注)詳細は、添付P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	199,566,770 株	24年3月期	199,566,770 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	25,958,093 株	24年3月期	26,295,390 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	173,382,196 株	24年3月期3Q	173,271,828 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更	P. 4
3. 四半期連結財務諸表等	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 10
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(6) セグメント情報	P. 12
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

〈添付資料〉

2012 年度第 3 四半期 決算（連結）の概要	P. 14
--------------------------	-------

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(2012年4月1日～2012年12月31日)の状況 (単位: 億円)

	2012年3月期 第3四半期連結累計期間	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	919	959	4.3%
売上高	952	972	2.1%
営業利益	△53	8	—
税引前四半期純利益	△81	1	—
四半期純利益	△77	△19	—

(昨年度買収した Verigy Ltd. の業績は2011年度第2四半期より連結計上)

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、一部で持ち直しの動きが見られましたが、本格的な回復には至りませんでした。アメリカ経済は緩やかな回復傾向にあるものの、「財政の崖」への懸念などから動きは依然弱いままで。欧州経済は、緊縮財政と景気悪化の悪循環が続くなか、需要低迷が長期化する様相を見せています。また中国をはじめとする新興国諸国においても、経済の減速感が強まりました。

半導体関連市場においては、半導体市場を牽引してきたパソコン向けの大幅需要減、および民生機器向けの需要停滞が全体の成長を抑制した結果、前年比でマイナス成長となったと見られています。このような中でも、スマートフォンやタブレット型端末などのモバイル機器市場は堅調な成長が続いており、アプリケーション・プロセッサやベースバンド・プロセッサなど、モバイル機器に搭載される半導体は生産拡大が続きました。

このような環境のもと、当社は、それらモバイル機器用半導体のテスト需要の獲得に注力し、業績の伸長に努めました。

以上の結果、受注高 959 億円 (前年同期比 4.3%増)、売上高 972 億円 (同 2.1%増)、営業利益 8 億円、税引前四半期純利益 1 億円、四半期純損失 19 億円となりました。海外売上比率は 89.8% (前年同期 87.8%) です。

事業セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位: 億円)

	2012年3月期 第3四半期連結累計期間	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	728	724	△0.7%
売上高	703	738	5.0%
営業利益	17	90	441.7%

当部門では、モバイル機器に搭載される半導体のテスト需要の伸びが全体を牽引しました。なかでも、LCDドライバ向けテストや、通信用半導体向けに強みを持つテストシステム「V93000」への引合いが活発でした。一方、軟調なパソコン販売の影響を受け、メモリ半導体用テストシステムやMPU向けテストシステムでは、厳しい受注環境が続きました。

以上により、当部門の受注高は 724 億円 (前年同期比 0.7%減)、売上高は 738 億円 (同 5.0%増)、営業利益は 90 億円 (同 441.7%増) となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2012年3月期 第3四半期連結累計期間	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	119	101	△15.1%
売上高	145	107	△26.7%
営業利益	△7	△31	—

当部門では、メモリ半導体用テストシステムの需要が減少している影響を受け、事業連動性の高いテスト・ハンドラやデバイス・インタフェースの需要低迷が続きました。

以上により、当部門の受注高は101億円(前年同期比15.1%減)、売上高は107億円(同26.7%減)、営業損失は31億円となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2012年3月期 第3四半期連結累計期間	2013年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	124	140	13.2%
売上高	136	146	6.8%
営業利益	11	5	△57.5%

当部門では、当社製テストシステムの設置台数が昨年来拡大していることを背景に、顧客からのサポート需要も堅調に伸びました。

以上により、当部門の受注高は140億円(前年同期比13.2%増)、売上高は146億円(同6.8%増)、営業利益は5億円(同57.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前年度末比31億円減少し、2,160億円となりました。この主な要因は、現金および現金同等物が146億円減少し、有形固定資産および棚卸資産がそれぞれ51億円および48億円増加したことなどによります。負債合計は短期借入金および未払費用が、それぞれ250億円および52億円減少し、社債が250億円増加したことなどにより、前年度末比60億円減少し、817億円となりました。また、株主資本は1,344億円となり、株主資本比率は前年度末比2.2ポイント増加し、62.2%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より146億円減少し、436億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、未払費用の減少(△53億円)および買掛金の減少(△46億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、33億円の支出(前年同期は、53億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、96億円の支出(前年同期は、369億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の購入(△95億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、30億円の支出(前年同期は、257億円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の返済(△250億円)、社債発行による調達(250億円)および配当金の支払(△34億円)によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、今後のイノベーションを生み出す源泉として、2011年に買収したVerigy Ltd. との完全事業統合および両社の企業文化の融合“Advantest Culture Transformation”を、最重要経営課題と位置付けており、この“Advantest Culture Transformation”の頭文字と「行動する」という英単語を掛け合わせた全社運動「ACT2014」を、当2012年度より推進しております。この「ACT2014」運動では、中長期にわたる持続的成長に向けた経営目標として「売上高2,500億円」、「営業利益率20%以上」、「テスト・ハンドラの合計市場シェア50%以上」の3つを定め、2014年度での達成に向けて全社を挙げて活動に邁進しております。

足元の事業環境につきましては、パソコン需要の回復感が乏しいことに加えて、昨年末にスマートフォン一部機種の生産調整を行う動きが発生したことで、顧客の設備投資意欲に力強さを欠いた状態となっております。この現状を鑑み、通期の連結業績予想を売上高1,320億円、営業利益25億円へ修正いたします。

当社では、この当面の厳しい状況に立ち向かうために、2013年の全社スローガンを「Working Together, We Can Do Better」としました。そして、「マーケットシェアの伸長」「コア周辺ビジネスの拡張」「ストックベース収益の増大」「上位市場の創出」「新規事業の育成」の5つの方策の推進を通じて事業構造の転換を加速させ、今後の収益拡大および中長期にわたる持続的な成長基盤の構築を目指します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

除外 3社

①Advantest America Corporation (Holding Co.)

当該特定子会社は、当社の子会社である Verigy US, Inc. に吸収合併されました。なお、Verigy US, Inc. は、2012年4月1日付で商号を「Advantest America, Inc.」に変更しております。

②Advantest America, Inc.

当該特定子会社は、当社の子会社である Verigy US, Inc. に吸収合併されました。なお、Verigy US, Inc. は、2012年4月1日付で商号を「Advantest America, Inc.」に変更しております。

③Verigy Ltd.

当該特定子会社は、当社の子会社である Advantest (Singapore) Pte. Ltd. に吸収合併されました。

(2) 簡便な会計処理および特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更

2011年6月に、米国財務会計基準審議会は、包括利益の表示に関する基準を改訂しました。当該基準では、包括利益を株主持分変動計算書で表示する選択肢を削除し、包括利益の構成要素を1つの連続した包括利益計算書で表示する方法か、または連続した2つの計算書として表示することを要求しております。また、2011年12月に、米国財務会計基準審議会は、先に改訂した包括利益の表示に関する基準の新規定のうち、その他の包括利益累計額からの組替調整額の表示に対する修正の適用日の延期を公表しました。当社および当社の連結子会社（以下、アドバンテテスト）は、2012年4月1日より開始する第1四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響

はありません。

2011 年 9 月に、米国財務会計基準審議会は、のれんの減損テストに関する基準を改訂しました。当該基準では、企業が実施するのれんの減損テストにおいて、報告単位の公正価値を算定する前に、定性的要因を評価することが認められ、企業は報告単位の公正価値が帳簿価額を下回るという確率が 50%超であると判断した場合を除き、報告単位の公正価値を算定する必要はありません。アドバンテストは、2012 年 4 月 1 日より開始する第 1 四半期から当該基準を適用しました。当該基準の適用による経営成績および財政状態への重要な影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
資産の部		
現金および現金同等物	58,218	43,610
売上債権（貸倒引当金控除後）	24,119	23,226
棚卸資産	29,836	34,629
その他の流動資産	6,522	8,372
流動資産合計	118,695	109,837
投資有価証券	5,929	5,090
有形固定資産（純額）	34,206	39,281
無形資産（純額）	15,794	15,134
のれん	36,496	38,411
その他の資産	8,106	8,340
資産合計	219,226	216,093

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
負債の部		
買掛金	15,659	11,892
短期借入金	25,000	—
未払費用	12,068	6,846
製品保証引当金	2,129	1,934
前受金	2,228	2,424
その他の流動負債	3,288	5,904
流動負債合計	60,372	29,000
社債	—	25,000
未払退職および年金費用	23,444	24,045
その他の固定負債	3,858	3,639
負債合計	87,674	81,684
契約債務および偶発債務		
資本の部		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	42,280	42,634
利益剰余金	179,081	172,930
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 22,574	△ 15,199
自己株式	△ 99,598	△ 98,319
資本合計	131,552	134,409
負債および資本合計	219,226	216,093

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年 4月 1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)
売上高	95,155	97,186
売上原価	51,498	46,049
売上総利益	43,657	51,137
研究開発費	21,512	24,200
販売費および一般管理費	27,468	26,113
営業利益 (△損失)	△ 5,323	824
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	291	159
支払利息	△ 110	△ 97
その他	△ 2,947	△ 778
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 2,766	△ 716
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 8,089	108
法人税等	△ 358	2,059
持分法投資利益 (△損失)	△ 1	34
四半期純利益 (△損失)	△ 7,732	△ 1,917

(単位：円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年 4月 1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 44.62	△ 11.05
希薄化後	△ 44.62	△ 11.05

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2011年10月 1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2012年10月 1日 至 2012年12月31日)
売上高	30,695	24,628
売上原価	17,299	11,551
売上総利益	13,396	13,077
研究開発費	7,688	7,526
販売費および一般管理費	8,748	8,096
営業利益 (△損失)	△ 3,040	△ 2,545
その他収益 (△その他費用)		
受取利息および受取配当金	106	68
支払利息	△ 44	△ 37
その他	△ 438	△ 495
その他収益 (△その他費用) 合計	△ 376	△ 464
税引前四半期純利益 (△損失)	△ 3,416	△ 3,009
法人税等	△ 189	431
持分法投資利益 (△損失)	34	4
四半期純利益 (△損失)	△ 3,193	△ 3,436

(単位：円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2011年10月 1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2012年10月 1日 至 2012年12月31日)
1株当たり四半期純利益 (△損失)		
基本的	△ 18.43	△ 19.80
希薄化後	△ 18.43	△ 19.80

(3) 四半期連結包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年 4月 1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年 4月 1日 至 2012年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	△ 7,732	△ 1,917
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	△ 4,975	7,345
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	△ 1,076	△ 605
控除 純実現損益の再分類調整	813	251
純未実現損益	△ 263	△ 354
年金債務調整	165	384
未実現デリバティブ評価損益	△ 63	—
その他の包括利益 (△損失) 合計	△ 5,136	7,375
四半期包括利益 (△損失)	△ 12,868	5,458

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2011年10月 1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2012年10月 1日 至 2012年12月31日)
四半期純利益 (△損失)	△ 3,193	△ 3,436
その他の包括利益 (△損失) (税効果調整後)		
為替換算調整勘定	1,109	13,201
純未実現有価証券評価損益		
当期発生純未実現損益	54	208
控除 純実現損益の再分類調整	128	—
純未実現損益	182	208
年金債務調整	11	△ 23
未実現デリバティブ評価損益	2	—
その他の包括利益 (△損失) 合計	1,304	13,386
四半期包括利益 (△損失)	△ 1,889	9,950

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月 1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月 1日 至 2012年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益(△損失)	△ 7,732	△ 1,917
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	4,958	5,828
繰延法人税等	△ 1,186	△ 449
ストック・オプションによる報酬費用	408	581
投資有価証券評価損	1,454	388
売上債権の増減(△増加)	6,202	2,201
棚卸資産の増減(△増加)	444	△ 3,980
買掛金の増減(△減少)	△ 325	△ 4,624
未払費用の増減(△減少)	△ 2,308	△ 5,296
未払退職および年金費用の増減(△減少)	179	952
その他	3,240	2,980
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	5,334	△ 3,336
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期投資の増減(△増加)	14,375	—
売却可能有価証券の売却による収入	10,262	—
子会社買収額(取得現金控除後)	△ 57,145	—
有形固定資産の売却による収入	67	30
有形固定資産の購入額	△ 4,303	△ 9,527
無形資産の購入額	△ 234	△ 323
その他	34	201
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 36,944	△ 9,619
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増加(△減少)	41,146	△ 25,000
社債発行による調達	—	25,000
転換社債の償還による支出	△ 13,742	—
配当金の支払額	△ 1,678	△ 3,356
その他	△ 12	334
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	25,714	△ 3,022
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 4,037	1,369
現金および現金同等物の純増減額(△減少)	△ 9,933	△ 14,608
現金および現金同等物の期首残高	75,323	58,218
現金および現金同等物の四半期末残高	65,390	43,610

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) セグメント情報

単位：百万円					
前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)					
半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計	
外部顧客に対する売上高	67,016	14,513	13,626	-	95,155
セグメント間の内部売上高	3,267	36	-	△ 3,303	-
売上高	70,283	14,549	13,626	△ 3,303	95,155
調整前営業利益 (△損失)	1,667	△ 736	1,149	△ 6,995	△ 4,915
(調整) ストック・オプション費用					408
営業利益 (△損失)					△ 5,323

単位：百万円					
当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)					
半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	合計	
外部顧客に対する売上高	72,505	10,122	14,559	-	97,186
セグメント間の内部売上高	1,283	543	-	△ 1,826	-
売上高	73,788	10,665	14,559	△ 1,826	97,186
調整前営業利益 (△損失)	9,027	△ 3,135	488	△ 4,975	1,405
(調整) ストック・オプション費用					581
営業利益 (△損失)					824

単位：百万円

	前第3四半期連結会計期間 (自 2011年10月1日 至 2011年12月31日)				合計
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	20,352	4,472	5,871	-	30,695
セグメント間の内部売上高	229	2	-	△ 231	-
売上高	20,581	4,474	5,871	△ 231	30,695
調整前営業利益 (△損失)	△ 2,477	△ 415	1,021	△ 979	△ 2,850
(調整) ストック・オプション費用					190
営業利益 (△損失)					△ 3,040

単位：百万円

	当第3四半期連結会計期間 (自 2012年10月1日 至 2012年12月31日)				合計
	半導体・ 部品テスト システム事業	メカトロ ニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	
外部顧客に対する売上高	17,229	2,491	4,908	-	24,628
セグメント間の内部売上高	121	-	-	△ 121	-
売上高	17,350	2,491	4,908	△ 121	24,628
調整前営業利益 (△損失)	17	△ 1,179	234	△ 1,327	△ 2,255
(調整) ストック・オプション費用					290
営業利益 (△損失)					△ 2,545

- (注) 1. 全社に含まれる営業利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
2. アドバンテストは、ストック・オプション費用調整前営業利益 (△損失) をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

- (7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

2012年度第3四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

上段は2012年10月25日に発表した業績予想値であります。(単位:億円)

	2011年度 実績	2012年度実績						2012年度業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
受注高	1,262	462	253	244	△3.7%	959	4.3%	321	1,280 (1,420~1,680)	1.4%
受注残	236	364	225	223	△1.1%	223	△36.6%	196	196	△16.9%

2. 損益

上段は2012年10月25日に発表した業績予想値であります。(単位:億円)

	2011年度 実績	2012年度実績						2012年度業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	4Q	通期	前年度比
売上高	1,410	334	392	246	△37.2%	972	2.1%	348	1,320 (1,400~1,600)	△6.4%
売上原価	723	158	187	116	△38.2%	461	△10.6%	-	-	-
研究開発費	303	81	86	75	△12.7%	242	12.5%	-	-	-
販売費および一般管理費	376	87	93	81	△12.7%	261	△4.9%	-	-	-
営業利益 (売上高比率)	8 (0.6%)	8 (2.3%)	26 (6.7%)	△26 (△10.3%)	-	8 (0.8%)	-	17 (4.8%)	25 (1.9%)	198.6%
営業外損益	△42	5	△8	△4	-	△7	-	-	-	-
税引前当期純利益 (売上高比率)	△34 (△2.4%)	13 (3.8%)	18 (4.7%)	△30 (△12.2%)	-	1 (0.1%)	-	-	-	-
法人税等	△12	9	7	4	△44.4%	20	-	-	-	-
当期純利益 (売上高比率)	△22 (△1.6%)	4 (1.3%)	11 (2.8%)	△34 (△13.9%)	-	△19 (△2.0%)	-	-	-	-

3. 財政状態

(単位:億円)

	2011年度 実績	2012年度実績			
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
総資産	2,192	2,131	2,116	2,161	2.1%
株主資本	1,316	1,257	1,258	1,344	6.8%
株主資本比率	60.0%	59.0%	59.5%	62.2%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2011年度			2012年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	5.00	10.00	15.00	10.00	10.00	20.00